

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長  
( 公印省略 )

病害虫発生予察注意報について  
令和7年度病害虫発生予察注意報第5号を発表したので送付します。

## 令和7年度病害虫発生予察注意報第5号

1 作物名 マンゴー

2 病害名 ハダニ類 (マンゴーツメハダニ、シュレイツメハダニ)

3 発生地域 宮古島

### 4 注意報発令の根拠

宮古島における10月第4週の圃場調査の結果、ハダニ類の発生圃場率は100%（平年値：34.0%）、葉当たり雌成虫数は3.8頭（平年値0.6頭）と平年と比較して多発していた（図1）。発生種は、マンゴーツメハダニ（58%）およびシュレイツメハダニ（42%）であった。

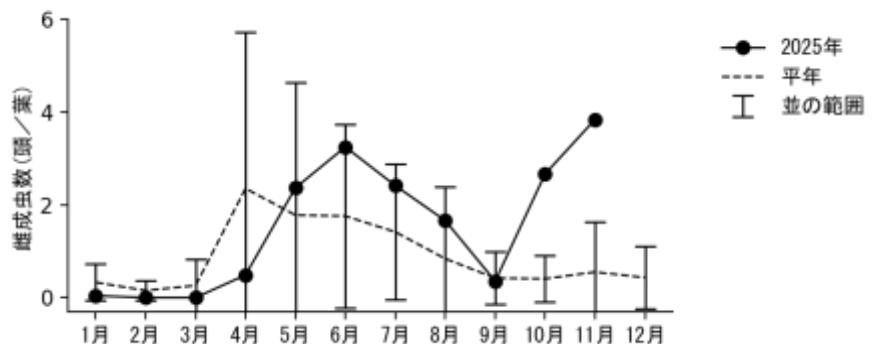


図1 ハダニ類 発生の推移

### 5 発生生態および被害

#### (1) マンゴーツメハダニ

- 雌成虫は体長0.4mmであり、胴体全部が鮮やかな赤色、後部は紫がかった暗い赤色を呈す。卵は、赤色で卵柄を有する（図2）。
- 沖縄県では周年発生し、主として硬化した葉の表面を加害する。
- マンゴー以外にも、アテモヤ、ゴレンシ、ビワ、レイシ、レンブ等の果樹類、ヤブツバキ、ホルトノキ、モモタマナ、ハンノキ等の樹木類に発生する。

#### (2) シュレイツメハダニ

- 雌成虫は体長0.6mmであり、胴体全体が紫がかった赤色を呈す。卵は扁平で色は無色透明～赤色まで変異に富む（図3）。
- 沖縄県では周年発生し、主として葉表を加害する。新葉および硬化葉のいずれも加害する。
- 農作物以外では、主としてイルカンダ、タイワンクズ、ディゴ、ソシンカ等に発生する。

#### (3) 被害

- 被害部は、葉がかすり状に白化・退色し、後に褐変して光沢を失う（図4）。

- b) 葉の被害が多発すると、光合成量の低下により樹勢の衰えを招き、収量・品質への影響が懸念される。

## 6 防除上注意すべき事項

- (1) 側窓、出入口などの開放は必要最小限にする。
- (2) 定期的に葉表を観察し、早期発見に努める。
- (3) かすり状の食害痕を見つけたら登録薬剤による防除を行う。
- (4) 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- (5) 冬季はマシン油乳剤による防除が効果的である。本薬剤は天敵に影響が少なく、天敵を保護しながらの防除が期待できる。



図2. マンゴーツメハダニの雌成虫と卵



図3. シュレイツメハダニの雌成虫と卵



図4. 被害葉

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所) 098-886-3880、(宮古駐在) 0980-73-2634、(八重山駐在) 0980-82-4933

ホームページアドレス : <https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/nogyo/1010700/index.html>

